

4. 南関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (南関東)	良くなる	家電量販店（営業統括）	・来店客は引き続き好調に増加している。外国人観光客の来店も伸びている。4Kテレビも徐々に購入する客が増加している状況であり、明るい雰囲気は漂っている。
		その他小売〔雑貨卸〕（経営者）	・経済面に対する政府の方針が非常に明確かつ的確であると思うからである。
		観光名所（職員）	・観光地のため梅雨の間は客が少ないと感じている。2、3か月後になると夏休みに入り、客が増えるというのが毎年の実績である。
		住宅販売会社（従業員）	・消費税増税前の駆け込み需要で来場者数が大幅に増えている。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・富の再分配が末端の商店街にくるまでの道のりはまだ遠い。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	・今年の夏は暑くなりそうなので白物家電も比較的高価な物が動いている。業者が少なくなったせいか家の中の細かい電気工事、修理などの依頼もよくある。
		一般小売店〔祭用品〕（経営者）	・6月後半の勢いが7月に持ち越しそうである。梅雨明けから活発になる。
		一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	・7、8月の案件が特に多く出てきている。消費税増税前に大きな投資関係をしたということが多分にあるようである。特に、夏休み等を利用したオフィスやじゅう器の入換え等が幾つかあり、増加に転じているような状況である。ただし、路面店のため、天候不順等で店頭では来客数が減ったりするので、極端に良いとも言えないが、徐々に案件が出てきて幾分良くなっている。
		百貨店（販売管理担当）	・不安定な株価や円相場という不安要素はあるものの、2か月連続で来客数が増加していることから、景気を下支えする一般消費者の消費、購買意欲は今後も堅調に推移すると思われる。
		百貨店（店長）	・アベノミクスが軌道に乗れば、夏以降、給与が上昇するためである。
		百貨店（副店長）	・高額品は依然好調であり、消費税増税が近づくにつれて需要が更に高まると思われる。雑貨や食料品のようなデイリー商品も少しずつ好転してきている。ただし、株価の変動次第で停滞する可能性もある。
		百貨店（計画管理担当）	・6月後半からクリアランスセールも立ち上がり、市場が活気付くのではないかと期待している。
		スーパー（店長）	・今のままの業績だと非常に厳しい。来客数は減少しているが、そのなかで唯一の希望は、買上点数や客単価が前年と比べて少しずつ上がってきていることである。そういった期待値を込めて、3か月後はやや良くなる。
		スーパー（仕入担当）	・景気自体は回復の基調にあるが、円安により輸入品の価格が高騰しており、小売価格も上昇し、身の回り品に対する財布のひもはまだ固い。
		コンビニ（経営者）	・これから7、8月と夏場になり、学校も休みになるため来客数が増える。
		コンビニ（経営者）	・客の高品質商品を求める傾向は、継続して推移していく。
		コンビニ（経営者）	・本部の取り組み、売場のアイテムの増加、客層に合った品ぞろえがしやすい売場に変更する予定があり、楽しみである。また、近隣にできたレンタルビデオ店が遅くまで営業しているため、夜間の来客数の増加が見込める。
		衣料品専門店（経営者）	・天気次第で変わると思うが、アベノミクスの影響で雰囲気は良くなってきている。また、努力次第で来客数や売上も増加してくるのではないかと。希望が持てるようになってきた。
		衣料品専門店（経営者）	・クレジットカードでの買物客が増えるなど、購買意欲を感じられるようになってきた。
		乗用車販売店（経営者）	・今年はボーナス商戦が期待できそうであり、新車の販売量も増える見込みである。
乗用車販売店（販売担当）	・参議院選挙の結果によると思うが、現政権が多分圧勝し、政治が様々な形で良くなる。それからアベノミクスでは様々な影響が良い意味で出てきて、やや景気は持ち直してくるのではないかと。特に東北復興についてはまだ停滞しているが、そこに従事するダンプカー、クレーン車、ミキサー車などが相当受注を抱えており、東北を中心にどんどん景気は良くなっていくと思う。		
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・参議院選挙の結果が出て現政権の基盤が固まり、経済政策に力が注がれると思っている。		

一般レストラン（経営者）	・3か月後も株価等が徐々に上昇したり、企業等の利益が円安で改善されたりすれば、夏のボーナス等も多少は上回り、少しは良くなる。また、不動産等も動いているようだからである。
一般レストラン（経営者）	・7月20日ごろ当社の主力店舗の1つが全面改装してオープンする。良くならなければ困る。
都市型ホテル（スタッフ）	・参議院選挙で現政権がまた勝てば、動きが良くなる。
タクシー運転手	・来月参議院選挙が終わり、ねじれ国会が解消されるとみている。アベノミクス効果が出て景気は良くなる。
タクシー運転手	・今年の夏は猛暑になるということで、気温の上昇や、秋のスポーツ祭の開催があるため、需要の増加があるのではないかと期待している。
タクシー（団体役員）	・景況感と天候に左右される業界でもあるので予測はつかないが、アベノミクス効果の影響も少しずつ出始めると期待する。
通信会社（経営者）	・株価の乱高下で、一喜一憂していたがこんなものかと落ち着いてくる。そして消費に向かい始める。
通信会社（社員）	・全体的に加入者数が伸びてきているので、このままの流れでいければ3か月後は目標数字がクリアできると感じている。
通信会社（営業担当）	・消費者は心理的に景気が上昇するであろうと感じているように思う。
ゴルフ場（支配人）	・秋口の予約で大きなコンペ等がそこそこ入っている。
その他レジャー施設（経営企画担当）	・催事の予約が好調に推移している。宿泊施設の稼働、予約状況も堅調に推移している。東南アジアからの旅行者が増えており、外交状況次第で旅行客数が大きく変動する中韓の旅行者と比べ、変動のブレが少ない。
美容室（経営者）	・政治の動きが良くなったのか分からないが、大分財布のひもが緩んできたようである。
設計事務所（経営者）	・これから参議院選挙があるが、やはり現政権でなくてはというような声も聞こえている。公的な仕事、今やらなくてはいけないような仕事というのは、これからますます出るのはないか。現在の仕事が大変忙しく、また、これからの1年間において多くの仕事が出るものと期待しており、そういったムードが漂っている。
設計事務所（経営者）	・取引先の状況から鑑みて、契約に結び付く可能性のある話がある。
設計事務所（所長）	・官公庁の物件も多少出てきているが、2割以上金額を下げないと取ることができない。しかし、民間の動きも多少あるので、おそらく秋口には良くなるだろうとみている。
設計事務所（所長）	・土地情報及び計画物件が多少出てきているので、売上につながる動きがあるのではないかと考える。
住宅販売会社（経営者）	・正確にはやや良くなることを期待しているという意味での回答である。円安の影響で自動車産業などの輸出関連企業は良いようだが、我々中小企業はまだ不況のなかにいる。大企業だけではなく、中小企業向けの景気対策を期待している。
住宅販売会社（従業員）	・消費税増税前に契約の準備をしている客がかなりいる。9月まで駆け込み需要が増えて、その影響で売上が前倒しになる傾向が考えられる。
住宅販売会社（従業員）	・マンション販売センターへの来客数が増えている。また、客の意欲が高まっている傾向が続く。
住宅販売会社（従業員）	・消費税増税前の駆け込み需要が顕在化しつつあり、引き続き受注量の増加が見込める。
変わらない	<p>商店街（代表者）</p> <p>・我々零細企業における商売の環境は、大手の輸出関連企業等とは全く違う状況で、客もあまり良い雰囲気にはなっていない。来年4月に消費税が上がるということで、何かあったら買っておこうというような人は金額の大きいものについては少し早めに買う、あるいは借りる予定がある人については今見て歩いているかと思う。</p> <p>商店街（代表者）</p> <p>・天候不順で、雨が降らない状態もやはり良くないので、普通の状態になってもらわないと商売は良くなる。</p> <p>商店街（代表者）</p> <p>・物販と違って飲食業、特に居酒屋等の客は多少良くなっているようなことを聞いており、実際に前を通ると結構入っているため、多少良くなってくるのではないかと考える。</p> <p>商店街（代表者）</p> <p>・株価の乱高下が落ち着き、实体经济がどれくらい上向いているかで変化があると思う。7月の参議院選挙の結果も景況に大きく影響する。決断力のある政治が続けば、景気の気分は良いほうに影響する。年末から続く政策の変化は確実に消費に影響しているのがその証明である。</p>

一般小売店〔家電〕 (経営者)	・これ以上悪くなりようがないというところまできている。テレビ等の家電商品で唯一動いているのがエアコンぐらいのため、とにかく希望的観測も込めて、これ以上下がらず、変わらないという形でいてもらいたい。
一般小売店〔文房具〕 (経営者)	・現在、当商店街は工事中で様々なところを掘ったりしているため、客が避けて通っている。良くなるということはあまり考えられない。
一般小売店〔家具〕 (経営者)	・これから先のことだが、本当はやや良くなると思うが変わらないを選択した。参議院選挙があったり、消費税増税の問題も出てきて、末端の方はなかなか今の状態ではないという感じがしている。
一般小売店〔印章〕 (経営者)	・新しい需要先が構築されていない。これからも当分は末端の我々に関係する業種へのアベノミクス効果はまず難しいのではないだろうか。アベノミクス効果を期待しているわけではないが、1つの景気上昇の要因としては大切ではないかと考えている。しかし、あまり期待はできない。
一般小売店〔家電〕 (経営者)	・一般消費者のムードはまだ上がり切っていないので、あまり上昇しない。
一般小売店〔靴・履物〕 (店長)	・選挙があると、小売などの商売へは気持ちがいかないので少し難しい。またその結果、政治が非常に不安定になったりすると、今経済的にも不安定なため、やや悪くなるのではないかと。
百貨店(売場主任)	・一部の高所得者の財布のひもは緩くなってきているが、一般的には給料の伸びがまだ実感されていない。また、株価の乱高下が原因で今一つ消費意欲が出ていない。
百貨店(総務担当)	・消費税増税前までは、今と同じように高額商品はかなり前年を上回る数字を残せている。ただし、懸念されるのがそれ以外の食料品や婦人雑貨、衣料品等は大きな波が出てきていないので、富裕層の購買意欲は上がっているが、全体としては、依然不透明感があり、消費税増税を境にかなり大きなリスクが出てくるのではないかと。
百貨店(総務担当)	・景気が良くなる大きな要因が見当たらない。2、3か月のスパンでは大きな変動はない。
百貨店(総務担当)	・一時的な金融緩和等の効果はあるが、具体的な経済再生の動きや、新規産業の芽などの国の意思が感じられない。
百貨店(広報担当)	・参議院選挙を占う東京都議会議員選挙が与党の圧勝となり、世論の信任を得た形となった。これを受けて今後も与党の景気拡大戦略は続く。また、来年に迫った消費税増税の駆け込み需要も想定され、百貨店でもそれに対応した商品政策、販売体制の戦略を立てている。従って、来年の消費税増税の反動までは、しばらく現状の好景気の継続が想定される。
百貨店(広報担当)	・今の景気の動向は雰囲気先行型なので、実態経済の改善には実際の給与所得の上昇などが必要だと思う。しかし、大きな改善は望めないと思うので、あまり変わらない。
百貨店(営業担当)	・例年より早く関東地方も梅雨入りしたが、比較的天候も安定しており、婦人服、紳士服衣料をはじめファッション雑貨、家庭用品、美術、宝飾、時計と幅広く堅調に推移している。ただし、中国の金融不安から派生する景気への影響が懸念される。
百貨店(営業担当)	・多少円高にふれてはきたが、依然として全体的な円安は変わらず、メーカーのものづくりに影響がある。価格も今後上げていかななくてはならず、現状維持がやっとである。
百貨店(営業担当)	・先月は若干落ち込んだものの、今月に入り復調の兆しがみられる。お中元ギフトについては若干の前倒し感がみられるものの、贈る件数が増えれば、返礼件数も増えることが予想できるので、売上も現在の伸びは期待できると推察される。今の経済政策の効果が実体として現われるころなので、状況は楽観できないが、ここ数年続いていた悲観的な見方はなく、着実に少しずつではあるが良くなっていく。
百貨店(営業担当)	・アベノミクスの詳しい内容が発表されておらず、いつまでこの状況が続くのか国民が疑問に思ってきている。一方で、新党等も今後を100%託すべき状況でもない等、懸念材料が多いなか、参議院選挙の結果いかんと思っている冷静な消費者も多い。
百貨店(販売促進担当)	・高額商品の動きが一部であるものの、一般の消費者は堅実な消費を続けている。
百貨店(営業企画担当)	・しばらくこのままの状態が続くと思われるが、株価、為替の不安定さが継続すると影響が出ることも想定される。

百貨店（営業企画担当）	・高額品の好調は継続しているが、衣料品などその他の品目にも明るさが出てきた。株価は一時大幅に下がったが、底割れすることなく踏みとどまっているため、当面は現状の景気を維持すると思われる。
スーパー（経営者）	・悪い状態がずっと続いているので、2、3か月先も同じような傾向になる。ただし、今のところ読めないが、夏のボーナスが良ければ多少は変わってくるのではないかと。基調としては変わらない。
スーパー（店長）	・7月より主力商品で一部原材料の値上げに伴う価格改定もあり、売価も値上げせざるを得ない状況が続くので、景気の回復にはまだ時間がかかりそうである。
スーパー（店長）	・消費税増税関連での売上の変動はまだこの2、3か月後ではみられないと思うが、客はまだ景気回復の実感がいいのではないかと。明確な政策などが出てきて今後の期待感があれば景気は上向くとは思いますが、今のままではあまり現状と変わらない。
スーパー（店員）	・来客数も伸び、客の様子も好調ではあるが、単価の動きとしては高単価商品と低単価商品に買上動向が大きく分かれている。小売店としては売上、利益確保が非常に難しい販売形態、また販売努力になると思われる。
スーパー（総務担当）	・株価が上がったり、円安で景気が回復しているような情報が流れているが、実際に身の回りの買物動向を調べても、まだ実感として景気が上がっているというようなことはない。また、特に大きな流行の情報もないなかでは、今の下がったままで推移する。
スーパー（営業担当）	・まだ好調なベースは変わらないと思うが、特に世界経済のなかで大きな株価の変動、また為替の変動が大きく上下し、それが原因で世界的に経済が悪化すると、日本もそれにつられて悪くなる可能性がある。その点が一番懸念される。
コンビニ（経営者）	・過去の動きから考えると、景気はあまり良くなるとは言えない。
コンビニ（経営者）	・最近は格差社会というが、やはり来店客の中でも、目一杯食費を節約しているような客と、少し高くてもコンビニが便利だからと普通に買物をしている客とを感じるようになってきた。また、どこにも行くところがないのか、当店でお酒を買って、店の脇で一日中ぼーっとしている人がいたりとか、世の中が良い方と悪い方、同時に進んでいるような社会になっているのだと感じている。もう少しみんなで潤っていきけるような社会にしてもらえると、我々の商売も来客数が上がって良くなっていくと思う。
コンビニ（経営者）	・今の日本の経済政策が浸透すれば、これから真夏に向けての購買意欲も非常に高くなるので、以前よりは伸びる。
コンビニ（経営者）	・アベノミクスという経済指標によって大手は大分潤っているようだが、末端の中小企業、また勤め人の収入がやや減っているのではないかと。これから先は予想がつかない。
コンビニ（エリア担当）	・株価等の動きが上昇一辺倒から一段落しており、良くも悪くもなく推移すると予想している。
コンビニ（商品開発担当）	・来客数は回復傾向にあるものの、回復傾向が継続する要因もなく、厳しい状況は変わらない。
衣料品専門店（経営者）	・客層の中心が年金生活世帯である。景気が良くなっても収入は変わらないが、何かにお金を使おうという気持ちが感じられる。
衣料品専門店（経営者）	・アベノミクスで一部は良いと思うが、本当に末端の商店等の動きはさほど変わらない。これから消費税を含めていろいろな値上げがあるので、分からないというのが現状である。まだ不透明な部分もあるので、先行きを見守っていきたい。雰囲気だけは良いような気がするが、現場はまだまだである。
衣料品専門店（店長）	・夏物衣料の買場商品が増えている状況で、来客数がまた増加するとは思えないからである。
衣料品専門店（店長）	・一部、高額品が動いていることを考えると上昇の兆しは感じられるが、一方、より低価格のものが伸びているため、トータルするとあまり変わらないままなのではないかと。
乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備と販売をしており、整備は順調に入っているが、販売はあまり芳しくない。2、3か月すると消費税増税前の駆け込み需要が始まると思うので、期待したい。
乗用車販売店（営業担当）	・今の段階では頭打ちのような気がする。
乗用車販売店（店長）	・アベノミクスの効果もそれほどなくなり、また、参議院選挙等があるため、様子見の時期が若干続く。

乗用車販売店（渉外担当）	・実績ベースは4月を除いてここ数か月前年比で10%前後のマイナスだが、受注量は粛々と続いている。エコカー減税、免税の継続や新型車効果もあり、ここしばらくこの傾向が続く。
乗用車販売店（販売担当）	・自動車業界に追い風がなく、今後が不安である。
乗用車販売店（総務担当）	・新規保有が望めないためである。
住関連専門店（店長）	・アベノミクスの不透明さにより、株価の変動、円安など不安材料がある。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・株価や為替の安定等、先行き不透明な状況が払しょくされないと落ち着かないのではないかと。
その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・食材にお金回ってくるようになるのは、これからである。
その他小売〔ゲーム〕（開発戦略担当）	・家庭用ゲーム市場としては特に上向き要素はない。
高級レストラン（支配人）	・今年後半の受注状況は今のところ前年比プラスの予想である。急な景気回復は難しいが、東京オリンピックの招致でも決まれば良い方向に進むのではないかと。
一般レストラン（経営者）	・新業態、新規出店で街が変わると実感している。人の流れも変わりそうで今は様子見の状態である。
一般レストラン（経営者）	・景気上向きへの期待から実需につながっているような感じはあるが、まだ力強さ的には弱いものがある。参議院選挙が終わってから、どのようになるか分からないが、おそらくこのまま若干横ばいより上向きという程度で年末まで推移する。
一般レストラン（スタッフ）	・街では様々な安い物も売っているが、周りをみても全然動いてない。前より悪くなったような気もする。一般市民もそろそろ気が付いてくるのではないかと。強いことを発信しているが、まだそのような域までいっていない。
都市型ホテル（スタッフ）	・サマーシーズンを迎え個人利用主体の宿泊については期待が持てそうだが、近年は動きが直近のため読めない。レストランも宿泊にけん引され販売量が増えると予想されるが、婚礼や宴会は夏枯れの時期となり、先々の予約はかなり厳しい状況である。宴会需要が改善されれば好景気感も実感できるが、程遠い状況のなか、あまり変わらないように思う。
旅行代理店（従業員）	・現在の状況は前年比での進捗状況とほぼ変わらない。若干マイナス程度である。先行きについても前年よりは少し悪いぐらいで推移している。
旅行代理店（従業員）	・各業界の業績が上がれば、旅行の新規実施や予算増額の動きも出てくるだろうが、今のところその様子はない。
旅行代理店（支店長）	・2、3か月後は8～9月になり、この時期は個人旅行の最盛期となる。来月の頭にかけてその予約があるので、それ次第である。団体の動きは鈍く、特に9月は良くない数字が出ているので、全体としては悪くなるということもないが、変わらない。
タクシー運転手	・来月は参議院選挙が始まる。選挙があるとどうしても景気が落ち込むというのが今までの例なので、あまり期待できない。
タクシー運転手	・世間一般では、まだ自分の給料が上がってないため余裕がないところがあるので、もう少し時間がかかりそうである。
タクシー運転手	・今年に入って確かに良くなっているようだが、その要素が見え隠れしている。給料やボーナスが多少でも上がった上で、光熱費や税金が上がるのであればよいが、一部の企業の賃金だけが上がる状況では、多くの客は見込めない。
通信会社（経営者）	・営業体制を再構築して担当エリアが変わった都下でも獲得量を上げていく予定だが、需要が若干弱くなっている気がする。
通信会社（経営者）	・アベノミクスも一服し、ここにきて株価の低迷、円高への推移に変わってきたため、景気が良くなるという期待も心理的に停滞し始めている。
通信会社（営業担当）	・競合他社との価格競争が激しくなっており、販売状況の改善が見込めていない。
通信会社（管理担当）	・例年、夏季はダウントレンドベースではあるが、目立った上下変動はない。
通信会社（営業担当）	・世帯当たりのサービス単価は上昇傾向にあるものの、上昇率は鈍っており、横ばいになると思う。
通信会社（局長）	・為替に左右される業態ではないため、為替相場の変動による景気回復が見込めないと悲観している。

	通信会社（局長）	・経済環境が整うまでまだ時間がかかるものと思われる。また、当社のような業種は革新的な新サービスも伴わないと直接的な販売量の増加に拍車がかからない。そのため4Kテレビの普及時期が最も盛大になる可能性がある。
	通信会社（総務担当）	・景気回復の兆しはみられるが、顕著ではないためである。
	ゴルフ場（従業員）	・政府、国の政策で景気は回復していくのかもしれないが、地方自治、国民への影響はそう簡単にはいかない。
	パチンコ店（経営者）	・先々の消費税増税もあるが、現状は低玉貸しの機械を打つ傾向が強くなっている。やはり客の懐の具合もそれほど良くなっているとは思えないので、この先も今と変わらない状況なのではないか。
	その他レジャー施設 [アミューズメント] (店長)	・6月中旬よりボーナス商戦となっているが、客単価の向上がみられない。
	その他サービス [学習塾] (経営者)	・生徒数の動きから、景気はそれほど変わらない。夏期講習のコマercialを出し始めたが、例年や3か月前と比べても、生徒が増えたという感じはない。
	その他サービス [福祉輸送] (経営者)	・参議院選挙が終われば様々な意味で現政権の政策も出始めてくると思うが、それが経済に良い影響を与えるのか、与えないのかについてまだはっきりしていない。
	その他サービス [保険代理店] (経営者)	・このままの状態推移し、多少の上下はあるものの景気は横ばいで変わらない。夏場の売上増加もあまり期待ができない。
	設計事務所（職員）	・国は様々な政策を打っているが大きな変化はない。
	住宅販売会社（従業員）	・景気の良い状況がこのまま続く。木材利用ポイント制度も決まり、当社にとっては更に追い風になる。住宅ローン金利が一部で上がったと話題になっているが、変動金利は変わっていないので特に影響はない。
	住宅販売会社（従業員）	・現状、戸建用地の仕入が難しい状態なので、新しい事業に取り組んでいる。この事業が軌道に乗れば2、3か月先の状況は良くなるほうに転化してくる。
	その他住宅 [住宅資材] (営業)	・消費税増税前の駆け込み需要で、建材の受注はまだしばらく続く。
やや悪くなる	一般小売店 [和菓子] (経営者)	・来店客や、営業の声などを聞いても景気が良くなっているという実態がないような話がほとんどで、売上もあまり良くない。電気料金の値上がりはまだ続いていたり、原材料の値上がりなどで、ますます消費は厳しくなる。
	一般小売店 [茶] (営業担当)	・企業に対しての売上減少に続き、個人用のお茶の売上も減少してくるのでは、と心配でならない。個人客と企業の購入意欲低迷が予測される。
	衣料品専門店 (経営者)	・近隣大型店の地区と新規大型店とのセール商戦となるので、既存顧客の動向が気になる。また、長期予報の夏の長さや参議院選挙で落ち着くセールとならないので、売上が読みづらい。
	家電量販店 (店員)	・上半期を終えるなかで、前年と比べてみても、現状は前年以下の数字となる。
	住関連専門店 (統括)	・景気の動向が定まらず、買い控えが続いている。販売量も伸び悩んでいる。
	その他専門店 [ドラッグストア] (経営者)	・医薬品のインターネット販売解禁になり、現実の店舗だけでなくインターネット上での競争も増し、ますます状況は厳しくなる。
	一般レストラン (経営者)	・2、3か月先は8月なので我々の商売は売上が一番下がる。8月は2割減になると思う。
	都市型ホテル (スタッフ)	・今年の夏から秋にかけては海外旅行や国内旅行に出かけるとの顧客の声が多くある。来店客の行動パターンが読めず、来客が集中し入店できず、売上も限度以上伸びない日がある一方、来客数が半分以下になる日もあり、苦戦している。婚礼は新規客に対して様々な対策を出して減少を極力少なくしており、法人宴席を新規企業より獲得しているが、先の予約状況（人数、売上予想）は前年を1割ほど下回っている。宿泊は今秋も周辺でのイベントが前年並みに予定されており、うち1つは国際的なイベントであるが、詳細が全く不明で宿泊の中心が東京に変更される場合もあり、不安定である。
	都市型ホテル (スタッフ)	・8、9月の結婚式の予約は、前年に比べてかなり悪い状況になっている。
	旅行代理店 (従業員)	・例年国内団体旅行の動きが鈍くなる時期であり、今年もその流れは同じで予約状況は良くない。すでに10月以降の動きが活発化してきている。
	通信会社 (営業担当)	・様々な分野で物価が上がるなど、一般消費者の家計状況が好転するとは現段階では想像できない。
	ゴルフ場 (支配人)	・様々な物価が少し上昇しているため、客単価は逆にやや下がってきている。

		その他レジャー施設 〔ボウリング場〕（支配人）	・以前から兆候はあったが、6月に入ってからジュニア層を筆頭に来客数が落ち込んでいる。
		設計事務所（所長）	・現状、日本の景気だけが良いような報道が非常に多いが、世界的な状況の影響も相当あると思われる。来年4月から消費税も上がるということなので、それまでは多少の駆け込みで一時的に景気が良くなったように思えるかもしれないが、大きな間違いである。税金が上がってもさらに仕事が出てくるような政策が取られないと、なかなか景気は上向きにならない。
	悪くなる	一般小売店〔茶〕（経営者）	・6月はかなり厳しい売上になってしまっている。客の様子から特売日を待っているようである。余分な買物は控えて、必要な物だけ買物をしている。
		一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・大型ショッピングモールオープンの影響が大きい。
		その他サービス〔立体駐車場〕（経営者）	・アベノミクスで盛り上がり、一時的に大企業は良くなったが、今は伸び悩んでいるようである。数か月後には中小企業も良くなると期待していたが、良くなるどころが悪くなってきている。
企業 動向 関連 (南関東)	良くなる やや良くなる	—	—
		食料品製造業（経営者）	・話はきいているという感じはある。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・時期的に繁忙期に入るためである。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・会社の設立印8本のうち3本が、親会社の子会社を作ることでの注文である。今まで1か月に3つ新しい子会社の印が出るということはなかったのが、珍しいというか、少し上向きだと感じている。また、個人の実印や銀行印販売の店売りでは、通常1日大体3本、多くて4本のところ、先日6本の注文を受け、なかでも2名の客は普段出ないような客単価の高い商品を選んでいる。
		金属製品製造業（経営者）	・来年4月の消費税増税前の駆け込み購入がすでに始まったようで、急に受注量が増えている。年度内は忙しさが続くだろうが、来年4月以降の急な落ち込みが気になるところである。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・トラックの場合は、そろそろ良くなってこなければならないが、材料屋の減産で遅れている。材料が動かないから今月は予想に反して非常に悪かった。しかし、これからはまた良くなっていかなければならない。
		その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・若干勢いは衰えたとはいえ、まだアベノミクスに対する市場の期待は高いと思う。
		建設業（従業員）	・受注量が増えている。
		建設業（経理担当）	・企業の設備投資等ではないが、営業案件が多少増加している。ほとんど社会福祉事業等だが、これからは引き合いが増えそうである。
		輸送業（経営者）	・政府の方針決定や、実業界の取り組みなど様々あるが、実を結んでくれば景気は良くなっていく。長期金利の上昇がどう影響するかが懸念される部分である。
		通信業（経営者）	・アベノミクスに期待している。
		通信業（広報担当）	・株価の調整もそろそろ終わり、徐々にマインドも好転してくる。
		金融業（統括）	・少しずつ景気が良くなっていくように思う。まだまだ一気に上がらないだろうが、株価等も含め、良くなっていく。
		金融業（支店長）	・参議院選挙で現政権が勝利し、政権が安定すればデフレ脱却への期待が高まる。投資家の動きも活発になるのではないかと。
		不動産業（総務担当）	・新築分譲マンションへの来場者は目標数を下回っているが、歩留まりは良く、真剣に購入を検討している顧客が増えている。今後期待ができる雰囲気になっている。
		広告代理店（経営者）	・直近で提案予定の新規案件が通れば、早ければ3か月後から実務が始まる。その希望的観測を含めてのやや良くなるからである。
		広告代理店（従業員）	・取引先で夏から秋にかけて新製品が多くなり、宣伝等に力を入れつつある。
		広告代理店（営業担当）	・エンターテインメント業界の仕事をしているが、大抵、景気の良し悪しは半年～1年遅れて我々のところにやってくる。
		税理士	・参議院選挙後のさらなる経済政策に期待大である。

	経営コンサルタント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の海寄りの商店街の話では、現在の状況は決して良くないが、近隣の人たちの買い方が少し変わってきており、夏には状況が良くなっているのではないかということである。海水浴客も、少なくとも前年よりは増えると確信して、準備していると話している。
	その他サービス業〔警備〕（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受注量からみてこれからも売上増になると思う。
変わらない	繊維工業（従業員）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高額品の消費が盛んになりつつあるような報道があるが、衣料品については消費者は安ければ買う状況で、それだけファッション性が失われてきているということだろうか。
	出版・印刷・同関連産業（総務担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人消費が好調になってはきたものの、低価格競争は相変わらずで思うように利益が上がらない。
	プラスチック製品製造業（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ アベノミクスと言われているが、中小零細企業までその効果が回ってくるのは、まだかなり先である。このままの状況だと更に景気は悪くなる。
	プラスチック製品製造業（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各顧客や業種により成長戦略に乗れそうな取引先と乗れない取引先があり、新企画や受注計画に表れそういため医療容器などに期待をかけている。
	金属製品製造業（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受注額は横ばいで増える傾向は感じられない。製造原価はじわじわ上がる傾向であり、しばらくこの状況は変わりそうもない。
	一般機械器具製造業（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当社は自動車部品が多いが、数の多い物はここ1、2年で皆外国へ行ってしまった。その状態で考えると増えそうな物はない。また、新規の部品の受注もこのところ驚くほどない。そのためずっと落ちた状態のままではないかと心配である。
	一般機械器具製造業（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事の内容、種類を少し変えてみようかとは思っているが、今のところは年間通じて同じような仕事をしているので、変わり映えない。
	電気機械器具製造業（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気を使えない、企業が出て行く、人口が減る等の原因で当社が日本で商売を続けることは年々難しくなっている。何とか海外マーケットで当社の優れた商品売っていきたくと考えている。
	電気機械器具製造業（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 首相の政策が実現されないと良くなる見込みがほとんどないので、当分どちらとも言えない。
	その他製造業〔靴〕（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回同じような答えだが、周囲を見渡しても特別に変わるものが思い当たらないので、このままの状況が続く。
	建設業（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 景気対策の効果は、我々中小企業までには回ってこない。
	建設業（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先がまだまだみえにくく、何か起爆剤がほしいところである。
	建設業（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株価や円の変動により取引先の設備投資に変化がある。それらに対応しながら仕事の受注をしていくが、変動が速く売上が読みにくくなっている。
	輸送業（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 我々中小企業には今後良くなるか、悪くなるかさっぱり読めないが、せめて現在の景気のままであって欲しい。
	輸送業（総務担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 得意先の出荷が今後も輸出は増加傾向、国内出荷は現状維持状態が続く見込みであり、当社の売上の増加にはあまり期待できない。
	金融業（従業員）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 販売の回復よりも、原材料価格や仕入価格の上昇が先行しているとの声が多い。景気回復についても慎重な見方が多く、設備投資意欲は依然として低迷している。
	金融業（支店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各中小企業の受注の方向性については、先行きが見えないことが一番大きい。今は3か月ごとの受注計画なので、増えるにしても設備投資をしてよいのかどうか分からないことと、やはり消費がそれほど増えているわけではないので、売上が上がるとは考えにくい。
	不動産業（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先月は土地が値上がり傾向だったが、賃貸市場はまだまだである。
	広告代理店（従業員）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい仕事が見当たらないのは変わらないため、現状維持に力を入れている。
	経営コンサルタント	<ul style="list-style-type: none"> ・ アベノミクスは第3の矢が発表されただけで何も実体が動いていない。資金がたくさん準備されても、投資意欲の湧くような実体経済の動きがなければ結果は出ない。
	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の単価下落傾向と材料費値上げ傾向はしばらく続く。
	その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット環境整備の受注件数の伸びが落ちてきており、当面の間この傾向が継続する。
やや悪くなる	食料品製造業（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小売店にはこれから売上が伸びるような要素が見当たらない。

	出版・印刷・同関連産業（所長）	・資材の値上げのタイミングが7月を区切りに行われそうなので、ここがポイントとなると考えている。クライアントへの値上げ交渉が難しい状況なので、慎重に進めなくてはならない。	
	化学工業（従業員）	・原料、運送費の値上げの話がきているが、製品の動きは少し減少傾向であり、今後も変わらないようである。	
	金属製品製造業（経営者）	・アベノミクスが実現しても中小企業に資金が回るのは時間がかかる。中小企業に対する助成金の申請手続き条件が厳しく、文書作りに時間がかかり、使い勝手が悪い。	
	精密機械器具製造業（経営者）	・参議院選挙を控え、どこも市況の様子をうかがっている。国民はアベノミクスの反響を心待ちにしているが、市場では今年度では結果が出ないと言われており、来年度まで待てるのが不安である。この結果により政局が混乱すれば最悪の事態のシナリオになっていく。	
	輸送業（経営者）	・例年8、9月は天候要因や夏期休暇等による稼働日の落ち込み等で売上が減少する月であり、燃料価格の高止まりによる経費増も改善が期待できず、厳しい状況が続く。	
	金融業（役員）	・長期金利の動向や株価、為替の急激な変動は、将来的な安定という点で懸念材料である。中小事業者は、設備投資に踏み出すべきかどうか判断に迷っている。	
	その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・やや大口物件の解約があり、小口の新規契約も数件あるものの、すべてをカバーできないので、全体的にみるとやや悪くなりそうである。解約と新規契約、両方の動きが出てきた感がある。	
	その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・例年ならば3か月先の発注がそろそろ来るころだが、今年はまだ特にない。取引先も景気の動向がつかめないため、発注を控えている様子である。	
	悪くなる	建設業（経営者）	・やっと景気回復の兆しがみえてきたのに、ここで消費税増税をしてしまったら元のもくあみになってしまう。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・中国のバブルがはじけそうであり、それまでにアメリカの景気が良くなればいいのだが。
雇用 関連 (南関東)	良くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・8月のお盆明け以降の予定は今の段階で相当話があるため、それを全部受注できれば相当の盛り上がりがある。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・車、航空機の製造業の求人がけん引しているが、サービス業の求人件数も増加している。業界全体で製造業にとどまらず求人が増加している。
		人材派遣会社（営業担当）	・参議院選挙の特需が期待できる。また、選挙の結果次第で政治の安定への期待が良い結果を生んでくれることが考えられる。
		人材派遣会社（支店長）	・7月の参議院選挙で現政権が勝てばねじれが解消され、更なる経済成長が見込まれる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・外国人、日本人留学生の採用に向け、イベント開催が多くなっている。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・先々の案件に関する問い合わせは順調なので、期待したい。
		民間職業紹介機関（経営者）	・製造業のクライアントが多く、為替変動対応で以前からアジアの発展途上国進出は着実に進めているものの、国内外での状況改善が期待されるため、国内外でも比較的人材強化に力が入っている。
		変わらない	人材派遣会社（社員）
		人材派遣会社（社員）	・受注数はこのまま堅調に推移し、同時に採用が厳しい状況は続きそうである。
		人材派遣会社（社員）	・顧客の需要の堅調さは継続すると見込まれる。
	人材派遣会社（支店長）	・アベノミクスはまだ労働市場の活性化まで効果が出ていないと思う。	
	人材派遣会社（営業担当）	・長期的な先行きが見渡せないため、増員に踏み切れず、新規採用にちゅうちょする様子から、9月末決算までは少なくともこのままいく。10月以降の予算計上を増しする企業でもおそらく予算を使い切る動きは取らず、内部留保に努める印象がある。以前ほど人材配置の投資にアクセルを踏む企業は多くないと予測している。	
	求人情報誌製作会社（営業担当）	・新規の取引がそれほど増えていないためである。	
	求人情報誌製作会社（営業担当）	・求人数の動きがここ2か月ぐらいずっと横ばいのみである。	
	求人情報誌製作会社（広報担当）	・周囲にはアベノミクスによって恩恵を受けているような企業や、景気の上向きを体験している人がみられない。	
	職業安定所（職員）	・動きが見受けられない。	
	職業安定所（職員）	・金融市場が落ち着くまで時間がかかる。	

	職業安定所（職員）	・求人申込時の賃金見込額は現状維持が多く、この賃金水準では手取り収入が増えず、円安による輸入品の値上がりで、家計への悪影響の方が懸念される。
	職業安定所（職員）	・景気改善への期待は高まっているが、管内企業からは賃金への反映についてはまだまだ難しいと聞いている。また、パートや派遣、請負形態の求人増加はみられるが、求職者が探している正規雇用求人の増加には至っていない。
	職業安定所（職員）	・良くなる、悪くなるの判断材料が少ない。参議院選挙関係で一時的に求人数が増加している面はみられるが、継続的なものは見当たらないことと、在職中の新規求職者が多くなってきている感触があるが、大量雇用変動につながる情報がないためである。
	民間職業紹介機関（経営者）	・期待を含め、求人数は増えているが、採用条件を高めに変更したりで採用数の増加には結び付いていない。
	民間職業紹介機関（職員）	・変わる要素が今のところ見当たらない。C I 値も回復してきており、安定的に良い状況は続きそうである。
	民間職業紹介機関（職員）	・一定の好調な状態まで達しているので、この先、更に良くなるかは不透明である。
	学校〔専修学校〕（就職担当）	・今後の求人獲得予想数だが、新規採用や採用数増加の話は少なく、従来の計画通りに推移しており、大きな変化はない。
やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・近隣企業は自動車部品メーカーが多いが、業績が厳しく人員削減を行なう方向性とのことで、その影響を受け景気は低迷していくように思われる。
悪くなる	—	—